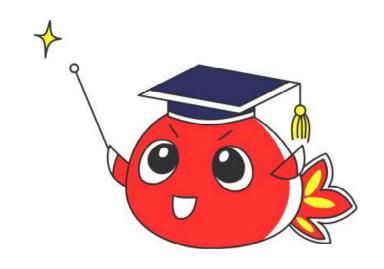
第7回(平成24年) 「大和郡山・金魚検定」

解説

<分 野… 大和郡山>

<難易度… 初 級>



大和郡山·金魚検定認定委員会

【正 答】 ④ 八条遺跡や八条北遺跡

【解 説】

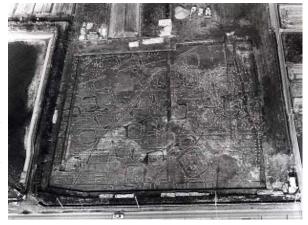
市内では美濃庄遺跡や八条北遺跡から弥生時代前期の土器が出土している。 中期になると白土遺跡、稗田・若槻遺跡、西田中遺跡、小泉遺跡、菩提山遺跡など遺跡数が増え、集落の遺構が多く調査されている。後期になっても西田中遺跡、小泉遺跡、菩提山遺跡などの遺跡では断続的ながらも集落が営まれ続ける。これらの集落は低地と丘陵地のどちらにも営まれていた。田中垣内遺跡の調査では濠に囲まれた後期~末期の集落を確認したが、これはアピタ大和郡山店建設に伴う事前調査であった。墓域の調査としては八条遺跡や八条北遺跡の密集した方形周溝墓群がよく知られる。他にも小泉遺跡で方形周溝墓がみつかっているが数は少ない。

【参 考】

「八条北遺跡」『奈良県遺跡調査 概報2004年(第一分冊)』奈良県 立橿原考古学研究所 2005年

『八条遺跡』奈良県立橿原考古学研究所 2006年

リーフレット「矢田丘陵周辺の弥 生時代集落」大和郡山市教育委員 会 2011年



八条北遺跡の方形周溝墓

問題2

【正 答】 ④ 松山古墳

【解 説】

松山古墳は額田部地域を代表する径52m、高さ5mの円墳で墳丘が良好な 状態で残っている。発掘調査では墳丘に樹立された円筒埴輪列がみつかってい る。

ところで、近年の京奈和自動車道や郡山ジャンクションの建設に伴う発掘調査では多くの埋没古墳が確認されている。水晶塚古墳のように推定全長が50mのものから横田堂垣内遺跡や馬司寺山遺跡の古墳群のように10m程度のものまで多種多様である。菩提山遺跡や小泉遺跡のような丘陵上の遺跡でも多くの埋没古墳が確認されている。

【参考】

『第4回こおりやま歴史フォーラム 矢田丘陵周辺の古墳文化 - 郡山・斑鳩 ・平群の古墳を考える - 』大和郡山市教育委員会 1998年

『八条遺跡』奈良県立橿原考古学研究所 2006年

リーフレット「菩提山遺跡」大和郡山市教育委員会 2011年

第7回『大和郡山·金魚検定』【郡山】【初級】 **解**説



松山古墳



松山古墳の円筒埴輪列

問題3

【正 答】 ③ 朱雀大路

【解説】

下ツ道は、並走する中ツ道や上ツ道、 直交する横大路等とともに古代大和の 幹線道路として重要な位置を占めた。 これらの道は『日本書紀』では壬申の 乱の舞台としても登場する。中でも では、平城京造営時には京内のメインストリートである朱雀大路に踏襲され、盆地内に条里水田を施工する際に は基準になるなど、特に重要な道路で ある。近世以降は中街道として整備され、現在も道路として利用されている 部分が多い。

問いにある西堀河や東堀河は平城京の物流を担う運河。西堀河は秋篠川を利用している。羅城は平城京の南面に設けられた施設で、近年関連遺構の調査が相次いでいる。

【参考】

『図説 平城京事典』柊風舎 2011年 リーフレット「下ツ道」大和郡山市教育委員会 2012年



古道と都城

【正 答】 ③ 賣太神社

【解 説】

稗田町に所在する。祭神は稗田阿礼。『延喜式』に記載がある他は社伝に関する資料が少ない。現在の社地は昭和16年(1941)の「古事記撰上1230年」を記念した動きの中で整備・拡張されたもの。昭和5年からはじまった阿礼祭は現在も続いており、「語り部の里」の中心地的な役割を担っている。

『延喜式』は延長5年(927)に撰進された律令法の施工細則を修正した 法典。この神名帳に記載された社のことを式内社と呼ぶが、大和郡山市内では 他に菅田神社(八条町)、和邇下神社(横田町)、菅田比売神社(筒井町)、 矢田坐久志玉比古神社(矢田町)がある。

【参考】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年 『奈良県史 第五巻 神社』名著出版 1989年 『古事記と大和郡山』古事記1300年紀事業実行委員会 2012年

問題5

【正答】 ② 城郭の中心部分で大型の礎石建物を確認した。

【解 説】

筒井城跡では平成14年以降継続的に発掘調査がおこなわれ、城郭の構造解明に向け資料が蓄積されてきている。一帯には現在も堀の痕跡が地割として残っているが、近年の調査では、これら地割に残らない堀が相次いで発見されている。堀からは大量の土器類が出土するが、鉄砲玉と考えられる鉛玉が出土する部分もある。一方、城郭内では建物の遺構をほとんど確認できていない。後世の土地利用により地表付近が削平された場合、深い堀とは異なり、浅い穴の痕跡などが残りにくいためである。建築物に関しては全く資料が存在していない状態であり、大きな課題となる。

また、一連の調査では、城郭形成以前にも盛んな土地利用があったことが明らかとなっている。問いにある建物遺構の他、古墳時代前期の土器が出土する溝もある。これらの時期の遺跡を破壊しながら城郭を形成したことがわかる。

【参 考】

『筒井城総合調査報告書』大和郡山市教育委員会·城郭談話会 2004年

【正 答】 ④ 総延長50町余の外堀を設け、郡山城の惣構えを完成させた。

【解説】

豊臣秀長は兄秀吉の分身的存在で名補佐役であったこともあり、知行高も百万石であった。郡山城に入ると共に、本格的な城つくりと城下町の繁栄策をはかった。商売を希望する者は、郡山でのみそれを許した。多武峯大織冠の遷座も秀長の政策の一つである。一方、外堀の構築は豊臣氏の後に20万石で入部した増田長盛によるものである。

【文献】

『大和郡山市史』大和郡山市役所 1966年

問題7

【正 答】 ③ 大永3年(1523)

【解 説】

この地蔵は、左手に宝珠、右手に鍚杖を持つ像高約90cmの立像で、大永3年(1523)癸未7月18日の刻銘がある。豊臣秀長が郡山城を築いた際、石不足のため、各地の石仏や石塔などを運び込んだとされ、そのエピソードを彷彿とさせる事例の一つといえる。

【文献】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題8

<u>A</u> <u>B</u>

【正 答】 ① 吉里 保申

【解 説】

柳澤氏は甲斐国から起こった一族である。郡山藩主としての治世は約150年にわたり、この間城下は比較的安定した時代となる。藩主自らが絵画や文芸に秀でた文化人でもあったため、文化の面でも円熟した時期となった。一族における初代郡山藩主は吉里。吉保は吉里の父で5代将軍徳川綱吉の側近として活躍。廃藩時の藩主は保申。藩籍奉還後、郡山藩知事となり教育信仰や旧藩士のための授産に努める。保承は保申の子。郡山の町政や教育制度改変に尽力し財団法人郡山城史跡・柳澤文庫保存会が設立されると初代理事長となる。大和郡山名誉市民第1号。

【参 考】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

【正 答】 ② 若槻環濠

【解説】

大和郡山市内には環濠集落が多数形成されているが、環濠の成立年代を推定できる例はほとんどない。若槻環濠は一帯の状況や関連史料から環濠の成立を1466~1595年の間にしぼりこむことができる。集落の変遷過程は散村形態から集村形態への変遷を示しており、中世集落の構造を考える上でも非常に重要である。昭和50年に大和郡山市の指定文化財となる。

【参 考】

『ふるさと大和郡山歴史事典』大和郡山市文化財審議会 1987年

問題 10

【正 答】 ② 資料収集

【解説】

水木要太郎 (1865~1938) は愛媛県の人。東京高等師範学校卒。奈良県師範学校教諭。のち奈良女子高等師範学校教授、帝国博物館学芸委員、史蹟名勝天然記念物調査会員などを歴任。多芸・多趣味・資料収集家としても超一流の学者であった。収集物の大部分は国立歴史民俗博物館に引きとられた。県内では天理大学附属図書館や(財)柳澤文庫にコレクションの一部がある。

【文献】

国立歴史民俗博物館『収集家100年の軌跡 -水木コレクションのすべて -』 1998年

国立歷史民俗博物館『水木家資料目録』 2003年

問題 1 1

【正 答】 ① 森口武男

【解 説】

郡山城内には句碑・詩歌碑が各所に 建立されているが、これもその一つ。 作者は森口武男。旧郡山中学38期生 で、国学院大学卒。女学校・奈良商業 ・奈良高校で教鞭をとった。のち、詩 作活動に入った。

【文献】

「俳諧と郡山」(長田光男)

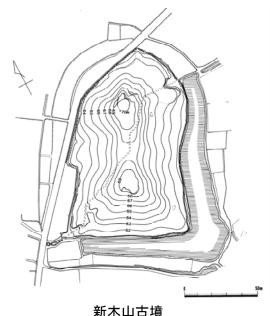


奈良県立郡山高等学校の前に建つ詩碑

【正答】 ③ 新木山古墳

【解 **詩**.】

新木山古墳は、長さ約122.5 m (後円部径72、前方部幅75m)、 高さ最大10.7 m。①六道山古墳は 次いで規模の大きな古墳で、全長は約 100m(後円部径75、前方部幅5 0 m)、高さ最大14 mとなる。市内 で100m級の前方後円墳はこの2基 のみである。②小泉大塚古墳は市内で 最も古い前方後円墳で全長約88m。 ④額田部狐塚古墳は全長約50m。ど どちらも埋葬主体部が調査され銅鏡が 出土するなどの成果があがっている。



新木山古墳

【参考】

『第4回こおりやま歴史フォーラム 矢田丘陵周辺の古墳文化 - 郡山・斑鳩・平群の古墳を考える - 』大和郡山市教育委員会 1998年

問題 13

【正答】 ② 5世紀初め頃

【解 説】

初の発掘調査により、墳丘に対する後世の改変が想像以上に大きいことが明 らかとなっている。調査では円筒埴輪や朝顔形埴輪の破片が出土した。これら の埴輪から、従来の考えより1世紀さかのぼる古墳時代中期前半(5世紀初め 頃)の築造であることが確認された。さらに、くびれ部付近の調査区では、祭 祀用とみられる笊形土器も見つかり、注目される。

【文献】

宮内庁による発表資料

問題 1 4

【正答】 ① 青色

【解 説】

「映画のあらすじ」金魚の伝統養殖業が盛んな町、大和郡山市。そんな町に やってきた日系ブラジル人の少年リカルドが古墳の中で青色に輝く金魚を発見 する。その少年の純粋な心が郡山の金魚と人々を目覚めさせ、ついに古墳と金 魚の真実が明らかに。忘れ去られていた金魚の伝説が町全体に奇跡を起こす。

第7回『大和郡山・金魚検定』【郡山】【初級】 解説

問題 15

【正 答】 ② 藍染め

【解 説】

城主・豊臣秀長により城下町の商工業振興のため、城下の13の町に対して商業の独占権や、土地に対する税金の免税などの特権が与えられた「箱本十三町」。そのうち、現在の箱本館「紺屋」がある一帯はかつて藍染めを職業とする人が集まった職人町で、豊臣秀長の時代(1585-1591)に成立したと考えられる。

問題16

【正 答】 ③ 尾川

【解 説】

料理旅館尾川は明治時代の中ごろに創業。以前は大和郡山市今井町の光慶寺前にあったが、手狭になったため、現在の雑穀町に移転。本格的な料亭として営業をしていたが、旅館業法改正に伴い、旅館業を始めた。大和郡山市からはフランス料理店「ル・ベンケイ」(北郡山町)も一つ星を獲得している。

問題17

【正 答】 ② 筒井れんこん

【解 説】

筒井れんこん。大和郡山市筒井町にあった筒井城の堀跡やその周辺では蓮根栽培が戦前から行われていた。土質がやわらかく、地下水も豊富なことから蓮根栽培に適しており、甘みと独特のシャリシャリ感が高い評価を受けている。

問題 18

【正 答】 ④ 石巻市

【解 説】

2012年6月に大和郡山ロータリークラブ主催で、初めて石巻市で認定大会が開かれた。全国大会の出場権を得た上位2人は協同福祉会の協力も得て、 全国大会に招待する。

【正 答】 ③ 31

【解 説】

故・大阪教育大学名誉教授鳥越憲三郎氏の"邪馬台国は、大和郡山市北西部 (矢田地区)に所在した"との学説をもとに昭和57年からコンテストを開催。 女王卑弥呼に選ばれた女性は1年間、さまざまなイベントで大和郡山のPRを 行う。「大和郡山の魅力をPRするのはもちろん県全体を盛り上げていきた い」と意欲を見せている。

【参 考】

鳥越憲三郎『大いなる邪馬台国』講談社 1975年

問題20

【正 答】 ④ 1080

【解 説】

数珠くり法要に使われる数珠の玉の数は1080個で、108あるとされる人間の煩脳の数を10倍にしたもの。

問題 2 1

【正 答】 ① まいどほーる

【解 説】

大和郡山市商工会館の愛称募集は、 大和郡山市のみならず奈良県内外から 多数の応募があり「市民をはじめ幅広 い方にご利用していただくため、地域 のイメージや覚えやすく親しみやすい 愛称」を選考基準に選ばれた。

応募者は命名の経過を『郡山の商売 人が挨拶でよく使う「まいど」。この



言葉は「いつも(まいど)ありがとうございます」が凝縮された言葉であり、 この勢いがあり皆の親しみがあり感謝の意味を持つ「まいど」に会館の意味で ホールを続けて愛称としました。』と解説している。

【正 答】 ③ 洞泉寺町

【解 説】

「大和な雛まつり」は、旧市内の町家など各所に飾ったお雛様を観光客等に 巡ってもらうことで、街の活性化をはかり、大和郡山の良さをPRしていくこ とを目的に開催された。当日は奈良県外からも多くの観光客が訪れた。

問題23

【正 答】 ② 鳩

【解 説】

彫刻家の柳原義達氏は父の実家が大和郡山であったため、郡山に対する思いが深く、その縁で多くの貴重な作品を市に寄贈されている。市役所の玄関前「道標・鳩」の他に市総合公園体育館前、やまと郡山城ホールにも氏の作品が展示されている。

問題24

【正 答】 ① 8

【解 説】

大和郡山市では、夏(8月)の全国金魚すくい選手権大会と冬(2月)の記憶力大会が、市内2大全国大会として定着し、にぎわいをみせている。『古事記』編纂より1300年紀となる今年の「第8回 記憶力大会」は実施種目である「自慢の部」の中に、新たに「古事記の部」を設けるなど新たな取り組みも導入された。記憶力大会は、現代の阿礼を発掘・育成することを通して、21世紀の新たなまちづくりと文化創造をめざして開催されている。

問題25

【正 答】 ④ 柳神くん

【解 説】

商店街の正式名称は「郡山柳町商店街」。2011年「神に守られた柳のまち」をキャッチフレーズに掲げ「柳神くん」(りゅうしんくん)を考案し、同年11月には、お披露目を兼ねた「第1回 柳神くん祭り」を開催した。柳神くんは邪心のない子供をイメージし、手に持った柳の枝でひとふりすると何でも願い事をかなえてくれるという。2012年の「第2回 柳神くん祭り」は10月14日に開催される。